

春季総合防災訓練



製造課初動対応

東長原事業所では火災・爆発・有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事業所内で働く各企業と共同で総合防災訓練を春と秋に実施しており、春の総合防災訓練では、毒性のあるガスが漏洩した想定で訓練を行っています。

ここ3年はコロナ禍のため規模を縮小して事業所内関係者のみの訓練を実施していましたが、今年はコロナ禍前と同様に、事業所内に立地する場内企業4社、常駐協力

企業7社に加えて、会津若松消防署にも協力を頂き、4月14日に訓練を行いました。

当日は「発災職場や非常時対策組織の各班が円滑に初動対応できるか」「被災者が発生したことを想定して、被災者を無事に救助することができるか」の2点を重点課題に掲げて実施しました。

久々の大規模訓練だったため参加者には緊張が見られましたが、予め想定していたように行動することができました。一方で、構内放送設備とIP無線機を用いた連絡体制などについて改善の余地が挙げられました。今後、これらの課題を改善して、万が一の有事の際にも慌てることなく円滑に対応できるよう、継続して訓練を実施していきます。

訓練終了後には、会津若松消防署十文字出張所の戸田所長より「訓練で避難している人は外で何が起きているのかわからないが、構内放送で何が起きているか適宜放送し、安心感を与えており非常に良かった。引き続き訓練を実施してレベルアップを図って欲しい。」という激励と要望を頂きました。また、西村事業所長からは「漏洩事故は決して起こしてはならないが、万が一発生した場合に、円滑に対応できるよう年2回の総合防災訓練だけでなく、日頃から初動対応を意識して行動できるように」と訓示を頂きました。

ご来場いただく全ての人に安心していただける事業所を目指して、これからも安全活動と訓練を続けていきます。



非常対策本部の様子



被災者の救急搬送



訓練終了後の訓話

近隣地区新年交歓会



西村事業所長挨拶



新年交歓会の様子

東長原事業所では、近隣地区新年交歓会を1月6日に開催しました。

事業所の活動をご理解いただく取組みとして、近隣8地区役員の皆さま並びに地元選出の市議会議員をお招きし、事業所説明会と意見交換会を兼ねた新年交歓会を毎年開催しています。

当日は、レゾナックグループ並びに東長原事業所概要及び昨年のトピックス、CSR活動への取組みなどをご説明しました。

参加された地区役員の方々からは、昨年の夏に実施した納涼花火大会の開催について感謝のお言葉をいただき、今年は納涼祭の再開を希望される声があがりました。また、地域とのコミュニケーションの機会を絶やさず努力している事についてもご評価いただきました。

一方、今年から社名がレゾナックに変わった経緯については、もう少し詳しく知りたかったとお声もあり、今後はレゾナックについてよりご理解いただけるよう情報発信をしていこうと考えています。

今後も地域の方々との双方向交流の仕方を考えながら地域貢献を持続していきます。

新入社員入社

4月3日、地元高校出身の新入社員3名の入社式が事業所の記念館で行われました。

先輩従業員が拍手で迎える中、会場に入場し、新入社員として紹介されると「早く会社に貢献できるようになりたい」「資格取得に励みたい」とそれぞれに意気込みを語ってくれました。西村事業所長から「東長原事業所は危険物を扱っている化学メーカーとして安全第一が責務である」という事と「統合新会社レゾナックでは、新たな経営理念であるパーパスとバリューに基づく行動を理解し成果を出していく事が求められている」というお話がありました。

配属先となるFC課、IC課、工務グループの所属長から「一緒に頑張っていきましょう」と声を掛けられると、3名とも緊張した面持ちながらも力強く応え、頼もしい姿を見せてくれました。これから沢山の事を学んで、一日も早く東長原事業所を支える一員となってくれる事を期待しています。



所属長との集合写真



新入社員